



湘南邸園文化ツーリズム (神奈川県)

第2回(2019年)登録
湘南邸園文化祭連絡協議会

湘南邸園文化ツーリズムでは、邸宅と庭園を一体で「邸園」ととらえ、相模湾沿岸一帯の邸園の魅力国内外へ広く発信しています。エリアが広いので自分なりのテーマをもって回ること、そして一度だけでなく季節ごとの邸園の表情を楽しむことをおすすめします。

今も息づく邸宅と庭園の文化

相模湾沿岸一帯は明治期から別荘・保養地を形成しており、首都圏で活躍する政財界人・文化人らが滞在・交流する地域として発展してきました。その邸宅・庭園などは、当時の風光明媚な景観を生かした庭園、そして建築技術の粋を集めた建物が融合した、大変価値の高いものです。緑あふれる閑静な住宅地の街並みや歴史的建造物のたたずまいは「湘南の邸園文化」として今も息づいています。

★ 邸園×テーマ

歴史的な背景を踏まえて、テーマ性を持った邸園巡りをしませんか。例えば「政財界人の別荘を巡る」なら大磯城山公園、明治記念大磯邸園、清閑亭、古稀庵など。「芸術や文学に触れる」なら映画監督・小津安二郎が過ごした場所やロケ地巡りなどを。

春夏秋冬 邸園×四季

湘南エリアは明治中期ごろから別荘地として発展しました。春はバラ、ツツジ、エニシダなどの花々、夏は新緑、秋は紅葉など、邸園は季節ごとに表情を変えます。四季の移ろいを感じながら楽しむことができます。

🍴 邸園×グルメ

相模湾沿岸に面した湘南は、鎌倉野菜、生シラス、金目鯛のおでんなど、より取り見取りのおいしさが堪能できるエリアです。邸園の観光とあわせてグルメもしっかりと味わう旅をおすすめします。

History 政治は、夜の湘南で決まる時代があった!

湘南が歴史の表舞台に登場するのは近代以降です。明治政府の召喚で来日した医師ベルツは、湘南の自然環境のよさに注目しました。またそれに先駆けて岩倉使節団がイギリスの保養地ブライトンを訪れたことも、湘南形成の一つのモデルになったと考えられています。湘南にはあらゆる分野の著名人が別荘や住まいを構えました。葉山は宮家、小田原や大磯は政財界人、鎌倉は実業家や文人、逗子は海軍士官、茅ヶ崎は役者や画家の別荘が多いなど、地域ごとに特色をもって発展してきました。



湘南邸園文化祭

毎年秋に開催。邸宅・庭園の一般公開や音楽・アート・食などとコラボレーションした文化的な催しを、同時期に広域で一体的に行います。各地域の邸園の魅力や価値を再認識できる絶好のチャンスです。



大磯オープンガーデン

毎年4・5月に各月3日間ほど、個人宅の庭を公開。公開件数の多さが特徴で、2019年には130件ほどの規模に拡大しています。大磯は「政界の奥座敷」とも呼ばれ、湘南の邸園文化を色濃く映し出しています。



茅ヶ崎映画祭

映画館やホールはもちろん、市内の旅館や飲食店なども会場にして、茅ヶ崎がロケ地になった作品や、ゆかりの監督の作品などを上映。小津安二郎が定宿にした旅館「茅ヶ崎館」では小津作品が鑑賞できます。



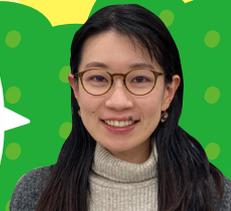
Area

サイクリングで巡るもよし

三浦半島から真鶴・湯河原に至る相模湾沿岸地域は、国道134号及び1号を中心としたサイクリングが盛んなエリアです。今後は、湘南の邸園を自転車で巡るモデルコース作成などを行いたいと考えております。また、静岡県伊豆半島の相模湾側にも邸園文化は続いており、富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズムとの広域連携も視野に入れていきます。湘南の歴史・文化を育んできた邸園をいろいろな視点で楽しみませんか。

一言お願いします!

庭はもちろん邸宅にも注目を。室内から庭の景色を眺めることが、湘南の本来の庭園の楽しみ方だと思います。湘南には邸園を活用した施設や魅力的な旅館も多いので、滞在型の観光もおすすめです。



湘南邸園文化祭連絡協議会
事務局 野村涉さん

詳しくはこちら

<http://shonan-teien-festival.org/>

